

酪農宮崎

令和5年7月31日 印刷
令和5年8月 1日 発行

編集人: 立山 行広
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県経済農業協同組合連合会
電話(0985)31-2100
<http://www.kei.mz-ja.or.jp/>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.621
2023年8月



酪友フォーラム2023

8月号目次

酪農情勢報告	1	ルーツを訪ねて!	9
酪友フォーラム2023	2	全酪連広告	10
技術のページ	3~4	全農広告	裏表紙
牛群審査・体型調査	5~6		
農学部ナンノ教授のひとりごと	7		
ミルクラン/ミルクウィーク	8		



酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和5年7月14日現在

指定団体	6月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	335,107	96.4	1,009,976	95.6
東北	39,644	94.6	122,467	94.6
関東	84,926	95.6	264,836	95.4
北陸	5,744	94.0	17,942	93.9
東海	24,784	91.5	77,759	92.5
近畿	11,535	92.9	36,257	94.2
中国	23,718	95.8	74,234	96.7
四国	8,542	94.9	26,843	95.8
九州	45,430	92.8	144,390	93.6
(内、宮崎)	5,524	93.0	17,417	93.7
都府県	244,323	94.3	764,728	94.7
合計	579,430	95.5	1,774,704	95.2

2. 販売状況

令和5年7月14日現在

用途	区分	6月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	259,904	95.1	764,807	95.5
	九州	33,896	91.1	102,297	93.2
はっ酵乳等	全国	36,888	95.3	110,913	95.1
	九州	7,144	99.0	21,531	99.6
特定乳製品	全国	142,957	95.9	469,124	92.8
	九州	2,041	88.7	12,819	82.9
生クリーム	全国	104,290	96.9	317,842	97.4
	九州	2,254	105.2	7,456	103.5
チーズ	全国	35,391	93.3	112,017	97.0
	九州	95	100.3	287	99.1
合計	全国	579,430	95.5	1,774,704	95.2
	九州	45,430	92.8	144,390	93.6

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 6月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	8戸
80 t 以上 ~ 100 t 未満	1戸
60 t 以上 ~ 80 t 未満	8戸
40 t 以上 ~ 60 t 未満	24戸
20 t 以上 ~ 40 t 未満	68戸
10 t 以上 ~ 20 t 未満	56戸
10 t 未満	22戸
合計	187戸
最高出荷量	238t/月
平均出荷量	32t/月

4. トピックス

台風・豪雨の備えと生乳生産基盤の確保を!

夕立を心待ちにしたくなるような猛暑の毎日ですが、お健やかに過ごしのことと存じます。今季は、うだるような暑さで熱中症や夏バテ等に予断を許さない状況で、残暑も厳しいと思われまので引き続き、熱中症対策や体調管理、更には、乳牛の暑熱対策をお願いいたします。また、7月上旬・中旬の豪雨により、被災された方々に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。集中豪雨予報の際によく耳にする「線状降水帯」という言葉ですが、気象庁による定義があります。「次々と発生する積乱雲が列をなし、同じ場所を通過または停滞することで、線状に伸びた地域に大雨を降らせるもので、線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水をとまなう雨域」です。今後、台風シーズンに入ってきますので、台風・豪雨情報を注視しつつ、これまでの教訓を生かし、台風・豪雨に対して万全の準備をお願いします。

令和5年度の生乳需給安定化対策に係る6月末時点の生乳出荷見込み数量が取りまとまりました。皆様から積み上げられた6月末時点の本年度見込み数量が当初72,219tから70,969t(当初比98.3%)と下方修正されました。これは、今年度に入り、県内酪農家が4戸廃業となり、現時点で185戸となっていることと、前年度からの需給緩和による生産抑制傾向が影響しているものと考えられます。更には、家畜改良事業団の令和4年度の乳用牛精液配布本数は前年度比19%減で、うち性選別精液も同6.4%減と下回っており、逆に肉用牛は同12.8%増となっております。本会取り扱い乳用牛精液配布本数についても前年度比14.7%減で、うち性選別精液が同12.5%減と下回っており、肉用牛は同15.5%増となっております。全国区の家畜改良事業団と同様の動向となっております。これは、情勢悪化等を背景に酪農家の肉用牛需要が高まった現れだと考えられます。

8月からの飲用乳向け・発酵乳向けの乳価値上げや「アフターコロナ」によるレジャー、イベント開催、インバウンド等の活発化はあるものの、依然として先行きの不透明感がありますが、生乳生産基盤の確保には、乳用後継牛の確保が不可欠ですので、生乳出荷見込み数量達成に向けて、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。飲用牛乳の消費拡大と酪農の理解醸成を目的に8月に「牛乳を飲んでエールをおくろう!みやざきMILKUP!写真投稿キャンペーン」とし、広く浸透を図るため、SNS(インスタグラム)を活用したキャンペーンを実施いたします。消費促進等のため、酪農関係団体や関係機関と連携を図ってまいりますので、安心して良質な生乳生産に努めて頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

「酪友フォーラム」開催

7月13日(木)、北海道の札幌パークホテルにて「酪友フォーラム」が開催され、全国から約300人の酪農家さん、酪農関係者が参加されました。

フォーラムは三部構成で行われ、第一部では過去の全国大会発表者による現状報告が行われました。

第二部では地域酪農青年女性会議の活動報告と、らくのうこどもギャラリーの表彰式が行われました。九州酪農青年女性会議の発表では、代表で長友佳奈美副委員長が活動報告を行いました。第三部ではパネルディスカッションが行われ、代表で北海道、徳島県、熊本県の酪農家さんが酪農情勢や今後の見通し、酪農をされていて思うことなどを話し合いました。

【九州酪農青年女性会議の活動報告】



【パネルディスカッションの様子】



【懇親会】



フォーラム終了後は懇親会が行われました。懇親会では各県との交流だけでなく北海道のご当地ミュージシャンである「ハンバーガーボーイズ」が演奏を行い、大いに盛り上がりました。

良質な飼料作物の生産について

1.はじめに

資材・肥料価格高騰により飼料費及び自給飼料生産に係る経費が増え、経営への影響が大きくなっています。そのため、購入する飼料や肥料の見直し等を行われている農家も少なくありません。良質な自給飼料の生産に向けてしっかり生育させるための土づくりを考慮しながら見直しをする必要があります。そこで、施肥設計の違いによる飼料作物への影響について調査しましたので紹介します。

2.調査方法

南那珂地域の畑において、イタリアンライグラスのを4つの施肥の方法で、平成30年から令和4年の5か年作付けしました。牛ふん堆肥は、肉用牛繁殖農家の堆肥を利用し、苦土石灰と化成肥料は、地域の施肥基準に準じました。

土壌pHは、収穫後の土壌を採取したもので、刈取り時期は出穂期とし、収量と飼料成分について調査しました。

- ・処理区:①牛ふん堆肥(3t/10a)
- ②牛ふん堆肥(3t/10a) + 苦土石灰(150kg/10a)
- ③牛ふん堆肥(3t/10a) + 化成肥料※
- ④牛ふん堆肥(3t/10a) + 苦土石灰(150kg/10a) + 化成肥料※
(地域の施肥基準)

※④は、地域の施肥基準

※化成肥料は、N:15kg/10a・P:15kg/10a、K:10kg/10aを散布

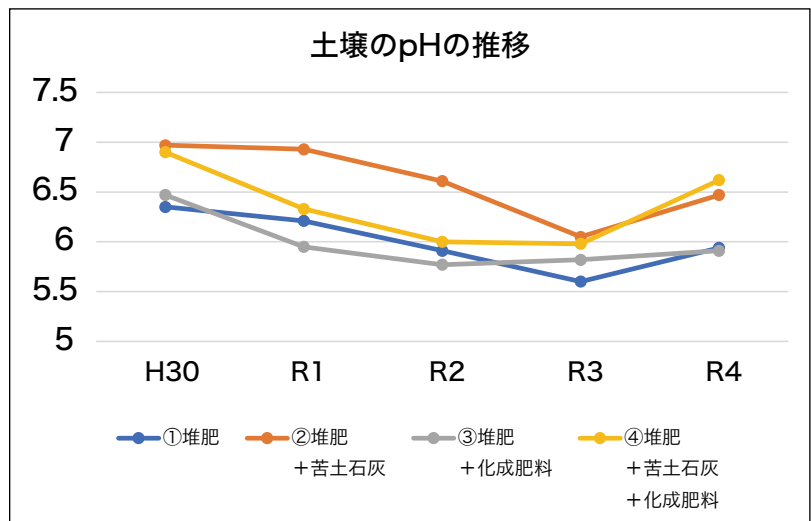
・草種・「品種」:イタリアンライグラス・「きららわせ」



3.調査結果

1) 土壌pH

土壌のpHは、一般的に、植物の生育条件は弱酸性から中性付近が最適とされています。収穫後の土壌を分析した結果、苦土石灰を施肥されなかった区は、年々pHが下がっていき、飼料作物の適正範囲である6.0～6.5を下回っていました(右図)。同様な施肥を継続した場合、生育が悪くなる懸念されました。

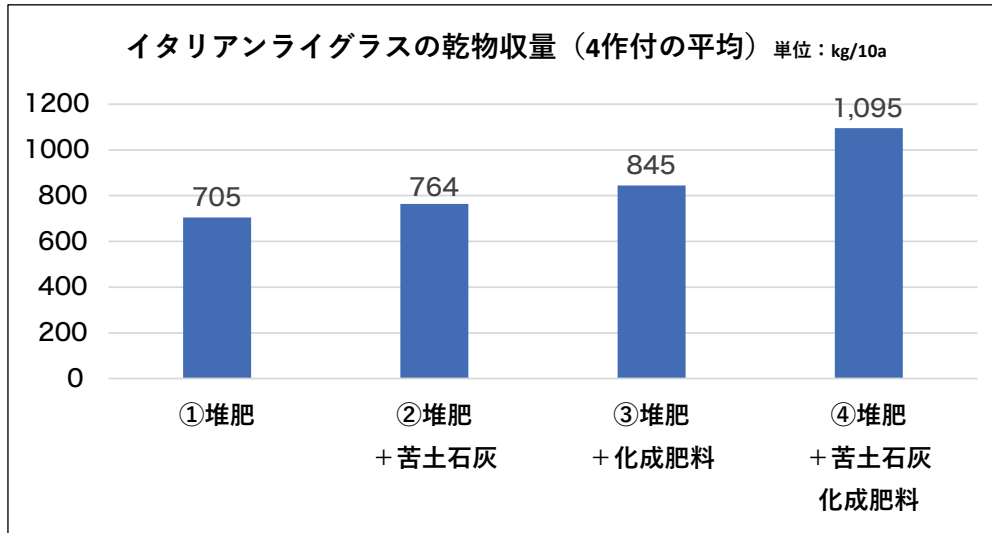


各地区内の5ヵ所から土壌を採取・混合したものを分析

2) 飼料作物の収量と飼料成分

(1) 収量

イタリアンライグラスは1番草のみの収穫となりました。10a当たりの平均乾物収量は、下図のとおりです。④堆肥+苦土石灰+化成肥料、③堆肥+化成肥料、②堆肥+苦土石灰、①堆肥の順に高くなりました。



(2) 飼料成分

飼料成分(乾物中)の平均値は、下表のとおりです。CP含有率は、④堆肥+苦土石灰+化成肥料、③堆肥+化成肥料、②堆肥+苦土石灰、①堆肥の順に高くなりました。

表 施肥別イタリアンライグラスの飼料成分(4作付分の平均)

(乾物中%)

区分	水分(%)	CP	EE	NFE	CF	CA	TDN
①堆肥	84.70	10.10	3.43	47.20	30.57	9.80	71.94
②堆肥+苦土石灰	84.76	10.36	3.53	47.50	29.73	9.57	72.30
③堆肥+化成肥料	87.53	10.88	3.10	45.35	31.55	10.45	71.45
④堆肥+苦土石灰+化成肥料	86.61	11.86	3.50	43.62	29.55	11.08	71.23

4.まとめ

苦土石灰を施用しない場合、土壌中のpHは年々低下し、同じ施肥を継続した場合さらに低下することが懸念されました。また、施肥基準どおりに施肥をした場合は、良質の飼料作物の生産に繋がることが分かりました。

5.おわりに

県内のイタリアンライグラスのCP含有量を調査したところ、低いものが散見されています。定期的な土壌分析により、土づくりを心がけ、良質な飼料作物の生産に向けて適正な施肥に努めましょう。

土壌分析のお問合せは最寄りの農業改良普及センターまで

(宮崎県営農振興協議会飼料作部会、宮崎県総合農業試験場専門技術センター)

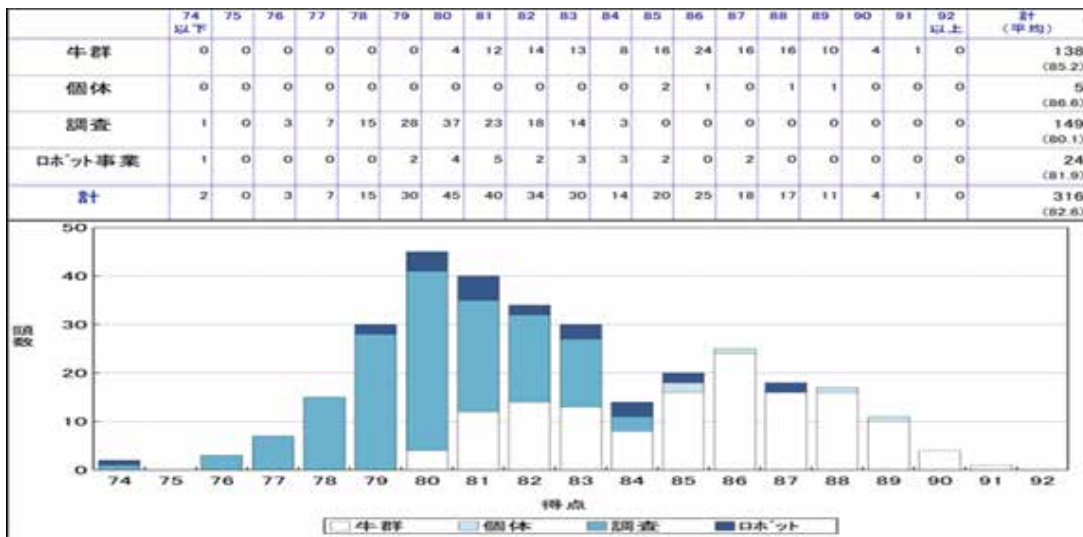
令和5年度(前期)審査概況報告について

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会 審査委員 高橋貞光

去る6月29日から7月8日までの土日を除く7日間、牛群審査並びに後代検定体型調査・搾乳ロボット適合性調査を実施いたしました。期間中大変お世話になりました生産者、宮崎経済連の方々をはじめ関係機関の皆様方には心より感謝申し上げます。

今期日程では高鍋地域2日間・都城地域3日間・西諸地域2日間で、合計316頭の審査・調査を実施することができました。審査実施概況は「表1」のとおりです。今期実績を前年同期と比較すると、牛群審査△2戸△24頭、奨励審査±0戸△1頭、体型調査△2戸+40頭、ロボット調査△4戸△23頭となり、体型調査頭数は増加しましたが、その他の審査・調査は戸数・頭数ともに減少いたしました。しかしながら、酪農家戸数の減少が続く情勢下において一定の実績が確保できましたことに、審査・調査にご理解とご協力をいただいた皆様方に、本紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

表1 審査得点分布



5頭のエクセレント牛が誕生

「表2」に示したとおり、今回の審査でEX90以上に評価した牛は91点1頭と90点4頭の合計5頭となりました。EX91-2Eに評価した都城市川野洋平牧場の「クリントン」は、体各部の構造が正確で極めて機能的な体型・乳器を備えておりました。また、6歳5産と繁殖性にも優れ、正に長命連産性に優れた素晴らしい牛でありました。川野大輔牧場の「クラツシュ」と「サンチエス」は、ともに体各部のバランスと乳器構造に優れたショウスタイルを備えた牛でありました。なお、浜崎太一牧場の「ジャコビー」は骨格構造と乳用強健性に優れ、今山陽一牧場の「ラインマン」は乳用強健性と乳器に優れた牛でありました。これまで休むことなく、長きに渡り続けてきた乳牛改良の成果がEXとして実を結ぶ結果となりましたことに、心より敬意を表します。おめでとうございます。

表2 高得点牛

名号 登録番号(IDNo)	生年月日	父牛略符号	所有者住所 氏名	今回得点 (4部位得率)	産次
スマイルファーム テンブラト クリントン ET 1374179620	H 28.10.09	7H10999	宮崎県都城市上長飯町 川野 洋平	91 (90 89 92 91)	6-08 5産
ビツグリバー ナイトハイブン クラツシュ マルコ 1382845821	H 30.09.24	94H17998	宮崎県都城市上長飯町 川野 大輔	90 (90 88 90 90)	4-09 3産
ブラチナドラモンド サイクル ジャコビー 1564151276	H 29.12.05	250H12589	宮崎県都城市関之尾町 浜崎 太一	90 (91 89 90 89)	5-06 4産
グローリーナウ テト マダム ラインマン 1487343666	H 28.03.30	200H10000	宮崎県都城市横市町5 今山 陽一	90 (90 88 91 90)	7-03 5産
ビツグリバー ワーテン AW サンチエス 1347144914	H 28.03.27	7H8190	宮崎県都城市上長飯町 川野 大輔	90 (90 88 91 90)	7-03 4産

宮崎県の歴代エクセレント牛

体型審査で皆様の牛舎を訪問するたびに、県内のEX牛について幾つかのご質問をいただきますので、今回は宮崎県の歴代EX牛をまとめました。宮崎県初のEX牛は平成2年に小林市の大牟田牧場で誕生し、これまで県内で合計40頭のエクセレント牛が誕生しております。「表3」に示したとおり、年代別では平成元年から10年までに5頭、11年から20年までに4頭、21年から30年までに9頭となり、過去30年間は年当たり1頭以下のペースでありましたが、令和に入ってからはそのペースが急加速し、令和元年から今期審査までに22頭、年当たり4頭以上のEX牛が誕生しています。全日本ホルスタイン共進会の九州・沖縄大会は残念ながら中止となりましたが、やはり生産者・経済連をはじめとする県内関係機関が一丸となって全共出品強化対策に取り組まれた成果が確実に現れた結果であると思われまます。

表3 年代別エクセレント牛頭数

平成元年 ～10年	平成11年 ～20年	平成21年 ～30年	令和元年 ～5年	合計
5 頭	4 頭	9 頭	22 頭	40 頭

また、得点別EX牛頭数を「表4」に示しました。EX牛40頭のうちEX91点(4頭=10%)、EX92点(2頭=5%)、EX93点(1頭=2.5%)となっており、当然のことEX90点以上の更新(加点)は極めて少数であることが分かります。このうち、高得点順(EX91点以上)は「表5」のとおりです。県内最高得点は唯一EX93点を獲得した川野大輔牧場の「ダーハム」で、次いでEX92点を獲得したのが同牧場の「マルコーニ」92点EX-3Eと、今山陽一牧場の「ブラケン」92点EX-2Eです。これに続き、浜崎牧場「ブラクストン」、川野大輔牧場「アットウッド」、川野洋平牧場「クリントン」、前原牧場「ウルトラジェット」のそれぞれが、EX91点を獲得しています。これらの殆どは2代EXや姉妹EXを獲得しており、また、共進会やB&Wショウにおいてグランドチャンピオンを獲得していることから、皆様も一度はその好体型を目にしていることと存じます。

表4 得点別エクセレント牛

EX90	EX91	EX92	EX93	合計
33 頭	4 頭	2 頭	1 頭	40 頭

表5 高得点順

名号	年 齢			得点	牧場名
	年	月	産次		
DKF ショイト レーガン ダーハム	07	03	6 産	93	川野大輔
DKF ナイトヘイブン マルコーニ	07	11	5 産	92EX-3E	川野大輔
グロリーナ ナイト マルコーニ	08	09	7 産	92EX-2E	今山陽一
ブラチ コーネ ブラクストン リー ET	07	05	6 産	91EX-4E	浜崎太一
ピカリバ ワーデン アットウッド ドレー	08	05	5 産	91EX-3E	川野大輔
スマイルファーム デンブラ クリントン ET	06	08	5 産	91EX-2E	川野洋平
ミストランド ウルトラジェット ナミ	06	06	5 産	91	前原和明

表6 牧場別エクセレント牛頭数

牧場名	住所	総頭数
川野大輔	都城市	7 頭
前原和明	えびの市	4 頭
浜崎太一	都城市	4 頭
今山陽一	都城市	3 頭
TKOシンジケート	都城市	2 頭
大濱義治	高原町	2 頭
石山宗行	高原町	2 頭
田中真志	都城市	2 頭
川野洋平	都城市	2 頭
田中剛史	都城市	2 頭
大牟田利郎	小林市	1 頭
永田一成	小林市	1 頭
温水健一郎	小林市	1 頭
高差 晃	小林市	1 頭
池島敏男	都城市	1 頭
松山忠秋	高原町	1 頭
都城農業高校	都城市	1 頭
田中武志	都城市	1 頭
八木弘美	都城市	1 頭
後藤和実	木城町	1 頭

県内最多は7頭

なお、牧場別EX牛頭数は「表6」に示したとおり、県内で最も多くEX牛を輩出しているのは川野大輔牧場の7頭で、次いで前原牧場と浜崎牧場が4頭、今山牧場の3頭と続き、これまでに県内20牧場で合計40頭のEX牛が誕生しています。今後も多くの牧場でEX牛が誕生することにご期待申し上げますとともに、より一層の乳牛改良にご尽力をお願い申し上げます。

終わりに

酪農経営の安定的発展には、乳牛改良が必要不可欠です。改良を進める上で血統登録・体型審査・牛群検定・後代検定は極めて重要であり、今日ではゲノミック評価が急速に普及したことで、これらを含め周期的かつ一体的な事業となりました。このように我が国の乳牛改良を取り巻く環境は数年で大きな変化を遂げております。この一体的な事業に積極的に取り組むことは、牛群の遺伝評価値を向上させるだけでなく信頼度を向上させ、結果的にその成果が牛群に反映されると考えられます。皆様方が築き上げられた牛群レベルを後退させることなく、今後の改良をより有効に進めるためにも、引き続き血統登録をはじめとするこれらの事業の推進にご協力をお願い申し上げます。今期審査の概況報告とさせていただきます。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

アイルランド西部から北アイルランドへ

南野 快

アイルランド西部の街、ゴールウェイで開催の学会終了後、レンタカーで北アイルランドのベルファストに向かった。旅行前にアイルランドで宿を取ろうと思ったけども料金が高く、街の中心からはずれたところのゲストハウスしか1泊1万円未満の場所がなかった。今回は複数の場所を移動する旅程だったこともあり、宿代節約や移動のしやすさも考えてレンタカーを借りることにした。また、アイルランドのカントリーロードは風景が素晴らしいことを知っていたので昼間のドライブは楽しみでもあった。

アイルランド島はヨーロッパで3番目に大きく、その面積は8万4421km²と、北海道の約1.1倍、九州の約2.3倍である。ゴールウェイからベルファストまでは320 km、高速道路を使って3時間50分の道のりである。宮崎市から大分県の日田市までとほぼ同じくらいだ。出発が午後6時頃なので当初は「夜道を長時間一人で走るのは退屈で、しかも異国の不慣れな道はちょっと不安だなあ」とやや憂鬱に感じたものの、よく考えたらアイルランドの6月は日没が遅いのだった。天気も良く、ドライブ後半は夕陽を浴びながらの楽しい道中だった。

アイルランドは英国と同様に道路は左側通行で車の運転席は右側、日本と同じなので乗りやすい。但し、ウインカーとワイパーの位置が逆なので、慣れないうちはウインカーを出そうとする度にワイパーを動かすはめになった(日本に帰国後、これと逆のことを経験することになったのだが)。また、意外に皆、結構なスピードで走っていく。制限速度も一般道でも100 kmとか、比較的狭い田舎道でも80 kmなどと表示されているので、後続車がいる時は景色が良いからと言ってあまりゆっくり走る訳にもいかなかった。

北アイルランドは英国の一部であり、アイルランド島のおよそ6分の1が北アイルランドである。アイルランド共和国はEUに加盟している。英国はEUから離脱した。アイルランド共和国と北アイルランドとの国境には何かあるだろうと思ったが、実際に車を走らせてみると停まる場所は全くなく、道路脇に「ようこそ北アイルランドへ」という標識があるだけで拍子抜けした。うっかりしていると知らぬ間に国境を越えることになるだろう。

ベルファストに到着したのは6月1日午後9時50分頃、ちょうど日没時刻の時間で、外はまだ明るかった。いやあ、やはりこちらの人々は夏の午後、仕事が終わった後も明るい屋外で楽しめる時間がふんだんにあるなあ、と再認識した。その代わり冬の日の出は遅く、冬至には午後4時前には日が暮れる。調べてみたら、ベルファストでは冬至の日長は7時間15分位で、夏至は約17時間17分、なんと10時間以上も違う(ちなみに宮崎では夏至と冬至の日長差は約4時間10分)のである。夏に開放的な気分になるのもよくわかる。



写真:アイルランドの田舎道にて、車を停めて外に出たところ、子牛達が寄ってきた。夕ご飯はこれからののだろうか…

酪農宮崎 企画 「この人を知る」ーミルクランー

JA宮崎経済連 酪農課

木崎 亮

【所属・プロフィール】

所属:酪農飼料部酪農課

出身:熊本県熊本市

出身学校:福岡大学

経済学部 経済学科

仕事の概要:凍結精液等の関連事業を主に担当しています。

座右の銘は「情けは人のためならず」です!

酪農家の皆様へ:まだわからない事ばかりで、至らぬ点が多くあると思いますが、皆様の支えと
なれるよう努力します! よろしくお祈りします!



川越 夏海

【所属・プロフィール】

所属:酪農飼料部酪農課

出身:宮崎県宮崎市

出身学校:宮崎商業高校

仕事の概要:各種協議会事務

酪農家の皆様へ:不慣れなことが多く、

たくさん迷惑をお掛けすると思いますが、少しでも早くお役に立てるよう頑張ります。

よろしくお祈りします。



地方競馬ミルクウィークの開催

牛乳・乳製品の消費低迷が懸念される年度末の期間(3月9日~16日)を「地方競馬ミルクウィーク」と銘打ち、全国の地方競馬場が一丸となって生乳の消費拡大に関する取組を実施しました。

期間中は、全国14か所の地方競馬場で牛乳・乳製品の配布を行うとともに、10か所の地方競馬場で酪農関係者を応援する冠レースを実施し、牛乳・乳製品のPR活動を通じて日本の酪農を応援しました。

また、宮崎県馬事畜産振興協議会(事務局:宮崎県畜産協会)では、九州各県の畜産協会等と連携し、3月11日(土)の佐賀競馬場において、来場者に九州産牛乳を配布しながら酪農の情勢を訴えるとともに、冠レース「てげうめっちゃんが! 宮崎の酪農応援賞」を実施するなど消費拡大に向けた取組を行いました。

ミルクウィークは今年度も実施予定ですので、これらの取組も含め、更なる牛乳・乳製品の消費拡大に向けて活動を継続していきます。



牛乳を配り、消費拡大を訴える様子



大型ビジョンでのPR

ルーツを訪ねて！「老牧夫回想録」より（高橋照次著）

ノーマン・ロバートさん宅訪問

牧場面積 一五二エーカー 宅地約五〇a

乳牛頭数 一五五頭（八〇％三～十三才、二〇％が二才以下）現在一二〇頭搾乳、（フリージャン）

稼動力 日常は息子達二人で搾乳、牧場の手入れ、（牧柵修理、雑草抜き、チェン・ハローかけ、糞をしたところを雨の降る前に掻きならして置く）等の作業

朝五時～夕方十七時三十分（この間三時間休み）住宅を全て開放し、家族総出で歓待してくれたが、ケーキもサンドイッチもすべて手作りで心尽くしが有難い。

ニュージーランドでも一流の酪農課ときくが、年間乳脂量で五〇、〇〇〇ポンド、生乳換算してみると脂肪率三・八％と仮定して約六〇〇屯を生産していることになる。多分、一、五〇〇万円内外の乳代であろう。立派なテニスコートもあり、まことに優雅な生活と観察したが、この家には日本人も度々訪ねるらしく、出羽三山の小さな蓑笠や、日本の浮世絵も飾られていた。一行中の長老八一才の尾関さんの一二〇頭経営で濃厚飼料代六〇％と云うのにはビックリしていた。

息子さん達もつましい中にも酪農経営に対する自信を持って居り、努力と工夫で収入も増大できると酪農業に対して誇りを持っているようだった。私の広角スライドで一同の記念撮影をして別れた。

やがてバスは火口原地帯に入る。この附近は土質が悪く乳牛は余り見られず羊が多い。緑の牧草地帯から全く変わった、ママプク山系の原始林地帯に入る。こんな原始林を開拓して今日の見事な牧野を造ったこの国の農民達に敬意を覚える。時速六〇マイルのスピードで突っ走るバスがやがてこゝを抜けると面白い形の小隆起丘阜がポコポコと出ている熔岩大地に出る。火口湖岸に湯気立ち昇るロトルア温泉に到着。

温泉ときけば久しぶりに手拭を頭に大浴場に浸って鼻歌の一つも…と云うところが、残念乍らこの国では温泉は療養地ではあるが歓楽地帯ではない。大衆浴場もなく、相変わらずの一人用浴槽だけ。いろげ抜きではえびの温泉以上らしい。

夜マオリ族のコンサート観賞、マオリは四代混血まではマオリ族として認められ特権もあると言うが、混血娘は実に美しい。日本の誰かに似た顔立ちの娘も居る。男が出陣する踊りは勇壮で面白い。目を大きく開いて舌が長く出る程勇者の表徴だと云う。フィナーレの英国歌をマオリ語で歌うときは総員起立させられた。まことに健全、文部省推薦物だと苦笑いしたが、マオリ族をこゝまで手なづけた英国の植民地対策も大したものだが、同じ英国から出てもアメリカ合衆国の黒人問題と比較すれば、あれ程マオリ族は黒くないがニュージーランド政府の進歩的政策の勝利とも云えよう。

朝早くから夕方おそくまで日程がつかまっていて買物も殆どできない上に、二六～二八日は三日続きの連休で閉店しているので、この夜特にラッセルさん達の努力で町外れの土産品店を特別に開いてもらい、一同初めて札ピラを切る。二人の婦人が小学生の算術よろしく紙に書いて計算してるので十九人の買物を終わったときは二三時を過ぎる。少し疲れた。

十月二七日（日）晴

ロトルア発、パーマストーン・ノースに向う。ロトルアの公園は国営だときくが美しい。随所に湯気立ち昇る湖畔に沿ってマオリ族の専用教会と集会所のある小公園に立ち寄る。足許にブツブツと湯が吹き出している。休日でも教会に来たマオリ族の純血と思われる婆さんと写真を撮る者、その娘らしい混血娘と撮す者と趣向はいろいろあるものだ。

国道のすぐ下に坊主地獄云うのかブクンプクンと泥を高くはね上げているところもある。今日の行程は三五〇軒以上あるのでラッセルさんはピタリと六〇マイルに針を合せてバスをとぼし乍ら、いろいろ説明してくれる。此の附近一帯がマオリの均分相統制で次第に所有地が細分化されたり、荒廃したりすると又国が買い上げて改良して渡したり、或は他の土地に移住させたりしたこと等を話してくれたが、ニュージーランド政府は随分気長にマオリの懐柔……よく云えば保護しながらその労働力を有効に使ったものだと感心させられる。マオリの聖山「虹の山」は高く険しく聖山らしく下の道路を走る車を見下ろしている。

その昔マオリ族と白人達が血を流した古戦場の山は今では国の草地試験地になっている。この附近は如何にも古戦場場らしい隘路口になって居り南から北上する白人をこゝで喰い止めたことであろうとなづかれる。

この附近は標高も相当高く寒いらしい。草生も少し遅れているようだが急斜面草地造成のサンプルのようなどころが多い。

ラッセルさんの博識にも感心するが、之を通訳してくれる戸塚先生時々美文調の解説で楽しくなる。しかし、ミセス戸塚も私と同年代だが、タフなのに驚くと同時に、大へんだらうと同情したくなる。この山地を下ると、できたばかりのカゼイン工場があった。

全酪連 夏のキャンペーン

お問い合わせ

ハイパフォーマンスに
挑戦!
Challenge!

愛牛を大切にしたい、
その想いをささえます

ルーメンPHの調整に

ゼンラク重曹

500円/袋 値引き

デーリィMGソーダ

300円/袋 値引き

20kg紙袋ペレット

全国酪農業者同組合連合会

肝機能、繁殖成績の向上に!

マル肝

700円/袋 値引き

メチピタ・Vプラス

320円/箱 値引き

500ml×10本/箱

1,650円/箱 値引き

10L/箱

暑熱時のミネラル補給に

アクアチャージ

770円/箱 値引き

2kg×5袋/箱

暑熱環境対策に

ナイアクールZ

5袋に1袋 添付
※分納可能

急速なビタミン給与に最適

ビプロソマテックAE1000

300円/箱 値引き

1箱 50g×5袋

150粒入り 1,000円 値引き

すこやかプセル

300粒入り 2,000円 値引き

キャンペーン期間 令和5年6月1日～9月30日



夏場対策の実施について

今年も宮崎に「暑い夏」がやって来ます。

年々、暑さも厳しくなる一方であり、暑熱による乳牛へのストレスは甚大なものと考えます。そこで、生産性の低下を防ぐ為、夏場対策として乳牛用配合飼料のビタミン強化を実施します。

【対策内容】

夏場の気温上昇にともなう乳牛への影響(ストレス)として、

- ①免疫力や細胞組成の低下
- ②細胞や組織にダメージを与える過酸化物質の増加、が考えられます。

そこで、ビタミン強化を行うことでストレス増加による生産性低下の抑制が期待できます。

- ◇ビタミンAには上皮細胞の健全性維持の機能があり、牛乳を生産する乳腺細胞も上皮細胞であるため、乳房炎や体細胞の増加を未然に防ぐ事が期待される。
- ◇ビタミンEには抗酸化作用があり、過酸化物質の除去に貢献し、かつ、免疫機能の強化に効果がある。

【対策により期待される効果】

- ① 乳房炎や体細胞増加の抑制 ②乳量低下の抑制 ③繁殖成績低下の抑制

【対策銘柄】

- ・乳ブレンド18
- ・乳スタンダード
- ・乳配M



【対策予定期間】

令和5年5月中旬～9月末